

新春の集い

令和2年1月25日(土)

於：ホテルグリーントワー幕張

## INDEX

- 新春のつどい・賀詞交歓会 …… 1
- 特別連載 オリンピックの想い出と  
TOKYO 2020への期待…… 2
- 緊急寄稿Q&A  
新型コロナウイルスの従業員対応 …… 3
- 例会委員会・ふくろう募金報告 …… 4
- スケジュール・会員異動・編集後記 …… 4

## 沖縄の歌と踊りで盛り上がる！



去る1月25日(土)、グリーントワー幕張にて【新春の集い】を開催いたしました。

当日は、総勢53名(会員36名・招待者10名・ビジター6名・ゲスト1名)と、多くの方々の参加をいただきました。ありがとうございました。

当日は、会長および臼井先生の挨拶により開会いたしました。お忙しいなかお繰り合わせいただき、一部のご来賓の到着が間に合わずスムーズとは言い難い進行となった場面もありましたが、林直前会長から乾杯の発声を頂戴したあとは続々とお料理が運ばれ、皆様で親睦を深めていただくことができました。

### 沖縄出身のシンガー・吉成ゆいさんに感謝

今回はゲストに沖縄出身のシンガー吉成ゆいさんをお迎えし、誰もが知っている沖縄にちなんだ曲をご披露いただきました。

歌に加えて、沖縄の踊りを教えていただく場面もあり、お客様からのおひねりも盛り上がり一役買ったかたちとなりました。とても楽しいステージでした。

和やかな雰囲気の中、会はさらに盛り上がりまして、最



後は臼井正一副会長から挨拶を頂戴し、盛会のうちに幕を閉じることとなりました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。  
 (早野泰広親睦委員長)

## '64東京オリンピックの思い出と TOKYO2020への期待

本来であれば今夏に開催する予定だった東京オリンピックTOKYO2020。前回の1964年に開催された東京オリンピックを経験された方にとって、2度目の東京開催を楽しみにしていた方も多かったことと思います。

残念ながら新型コロナウイルスの影響で開催が1年延期となりましたが、広報委員会で企画した「1964年の東京オリンピックの思い出」は、予定通り今号に掲載しました。本企画は今後も続ける予定ですが、随時掲載といたします。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1964年（昭和39年）の10月10日から行われた東京オリンピック。8月21日にオリンピアで採火された聖火が10月6日に千葉市に入り佐倉街道を通過して県庁前を通過し、その後海岸線をリレーされて習志野市に引き継ぐコースで国立競技場へ向かいました。

その千葉市内での聖火リレーに参加した高柳啓一さんにお話をうかがいました。



当時、加曾利中学校の3年生で、器械体操部のエースだったこともあり、陸上部の男子生徒に混じって伴走者の一員に選ばれたそうです。国道51号線の桜木町から都町までを先頭走者の後に続いて国旗を持って走ったとのことでした。

「伴走者の後には日産プリンスとか車がずらーっと連なって走ってね。地元ということもあって、家族や親戚を始め、多くの人が応援してくれた。走っていてとても誇らしかったことを覚えている」

「そのあと行われたオリンピックは、とにかく体操をテレビで夢中で観た。日本の男子団体が優勝したんだよ」

話はやはり、クラブ活動していた体操からでした。聖火リレーの話も、体操男子団体金メダルについても、とても嬉しそうに話されました。

TOKYO2020への想いも聞いてみました。

「今回のオリンピックでも聖火リレーの走者になりたいと思っていたんだけどね（笑）。千葉の街のなかは走らないらしいか



ら、ちょっと残念だね」

聖火リレーについては、本当に「走りたかった」ようです。体操男子団体、また金メダルを獲得してほしいですね。

1964年当時、うら若き乙女だった竹口満代さんに、当時の思い出をうかがいました。



オリンピックの時は熊本の私立女子中学校の3年生だったそうです。テレビでバレーボールなどを観た記憶はあるものの、それほどオリンピックに関心を持っていなかったとのことでした。唯一印象に残っているのは開会式より閉会式で、その日は学校が「閉会式を家で観るように」との理由で半日で授業が終わったとか。

ところが、若き竹口女史は学校からそのまま遊びに出かけてしまい、結局、行きつけの食堂のテレビで聖火が消えていく様子を観たとのことでした。

熊本で生まれ育った竹口さんにとって、前回の東京オリンピックは「遠い国で開催しているイベント」という思いだったそうですが、昨年NHKで放送された大河ドラマの『いだてん～東京オリムピック噺～』はとても感慨深く思いながら観ていたとのことでした。

その理由は、主人公の一人でもあった日本人初のオリンピック選手となった「日本のマラソンの父」金栗四三さんが同じ熊本出身だったことに加え、その妻の春野スヤさんが、竹口さんが通った女子校の先輩だったためだそうです。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1964年の東京オリンピックでは、デザイナーの亀倉雄策氏がデザインしたポスターを覚えている方も少なくないのでは。大会のシンボル・マークもデザインした亀倉氏のポスターが、今もホテルグリーンタワー幕張の1階でご覧いただけます。ロビー脇に飾られていますので、ぜひご覧になってください。



1964年のオリンピックを振り返るこの企画は今後も継続予定です。「こんなオリンピックのエピソードがあるよ」という方はぜひ広報委員会までお知らせください。取材に伺います！

（永田洋子広報委員長）

### 新型コロナウイルスの従業員対応、これって大丈夫？

社会保険労務士法人ハーモニー 森本哲郎

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症。客数減少や自粛要請、風評被害などにより、経済に深刻な影響が出ています。中小企業が経営を守りつつ、従業員の雇用も維持するために、どのように対応すべきなのでしょう。Q&A方式で解説します。

**Q1.** 風邪気味なのか、咳をしている従業員に、念のため休むよう命じました。熱はないようなのですが、万一のことがあると困るので…。

**A1.** 命じて休ませることは構いません。ただし、休んだからといって給与を払わないのはNGです。

**Q2.** 休みなのに給与を払う必要があるんですか？

**A2.** 本人が自分から休みたいと申し出たなら、病気欠勤です。しかしご質問のように、本人が働ける状態なのに会社が休みを命じる場合、「会社都合の休業」になります。労基法により休業手当（平均賃金の6割以上の額）を払わなければなりません。

**Q3.** 休みなのに給与支払いが必要なんて…じゃあせめて、たまっている有給を消化させることにします。それならいいですよね？

**A3.** そこにも注意が必要です。有給は従業員の権利なので、一方的に使わせるのではなく、希望を聞いてからにしてください。①休業扱いにして平均賃金の6割支給が良いか、②自身の有給を使い給与満額支給が良いか、という感じです。

**Q4.** なるほど、わかりました…。それは例えば、熱が出ているのに無理に出勤してきた従業員を、会社が命じて帰らせたとしても、同様ですか？

**A4.** その場合は話が変わります。熱がどの程度かにもよりますが、「風邪で熱がある」というのは一般的に仕事が満足にできる状況ではありません。仕事を休むことになっても、責任は本人にありますから、会社都合の休業には当たらないので、A2のような休業手当の支払いは必要ありません。

この場合でも、本人の有給を使う権利はありますので、帰らせる際には、①病気欠勤で給与無しとするか、②自身の有給を使い給与満額支給が良いか、と確認していただくのが良いでしょう。

**Q5.** とすると会社にも体温計を置いておくほうが良いかもですね…。もしも、万一、従業員がコロナにかかったと分かった場合はどうなりますか？

**A5.** 検査により新型コロナウイルスに感染していると分かったのなら、法的に就業制限の対象になります。つまり働かせてはいけません。法令に基づき就業を禁止するので会社都合の休業には当たらず、休業手当の支払いは必要ありません。A4 同様に、病気欠勤または有給ということになります。

**Q6.** 考えたくないのですが、感染者と直前まで一緒に仕事をしてきた他の従業員も、感染の疑いがあるということにな

りますね。この場合、他の従業員たちを休ませるのも「就業制限」に当たりますか？

**A6.** いえ、その場合は会社都合の休業になり、A2、A3のように対応する必要があります。他にも例えば、従業員自身の感染ではなく、家族や近隣の方が感染した、あるいは感染者との濃厚接触があったと思われるケースで、「感染したと判明したわけではない」場合は全て同様です。

**Q7.** 聞けば聞くほど、経営者にばかり負担がかかる話です。正直、コロナの影響で売上も減り、回復の見通しがまだ立たないのですが、それでも雇用は絶対に守らないといけないのでしょうか。

**A7.** 会社を危機に追い込んでまで守らねばならない訳ではありません。ただ、できるだけ守っていただくべきものではありません。どうしてもない場合には、解雇も可能ですが、その場合には就業規則や法令に従い、慎重に手順・要件を守りましょう。

**Q8.** そういえば、コロナの特例で助成金があると聞きました。こんな時こそ利用したいのですが、どうすればもらえるんですか？

**A8.** 助成金（※厚労省管轄のもの）は、「会社の経営が苦しい」というだけでは受給できません。雇用を守り、従業員のためになることにコストをかける場合に、受給ができます。今実施されているのは次の3種類です。いずれも、利用するには厚労省HPで要件をあらかじめよく確認してください。

①**雇用調整助成金**…コロナの影響で売上や生産が前年同月比5%以上下がっている場合に、計画的に従業員を休業させた場合に、支払った休業手当の4/5又は9/10相当（1人1日上限8,330円）が支給されます。特例により、計画の事後的届出が認められる他、4月1日から拡充されています。

②**時間外労働等改善助成金**（2020年度から「働き方改革推進支援助成金」に改称）…テレワークをするため、あるいは労働能率を上げるために、計画的に機器・システムを導入した場合等に、その費用の一部が助成されます。特例により、計画の事後的届出が認められていますが、購入前に必ず同条件の相見積もりを取り、低価格の方を購入していることが必要です。ご注意ください。

③**小学校等休業対応助成金**…国の休校要請により学校等が休校・休園になったために従業員が仕事を休む際、特別休暇を与え給与を満額支払う場合に、支払った全額（1人1日上限8,330円）が助成されます。

**Q9.** 休校の助成金はニュースでもよく耳にしました。詳細が分からなかったのですが、うちではみんな有給休暇を使って休んでいました。知っていれば使いたかったです…

**A9.** まだ間に合いますよ。従業員さんの了解のうえで「事後的に特別休暇に変更する」ことでも、助成金の対象になります。消化してしまった有給の残日数は戻してあげてください。助成金の申請期限が6月30日なので、利用する場合は早めに手続きをしましょう。

その他、最新情報は厚労省HP「新型コロナウイルスに関するQ&A(企業の方向け)」を検索してご確認くださいね。

## 例会委員会報告

12月例会 令和元年12月19日(木) 於：鰯割烹みどり

オペラ歌手の藤戸カリオラ明子さんによるディナーショーが行われました。



オペラ曲からクリスマスソングなど5曲を披露していただいたあと、アンコールで2曲を歌っていただきました。クリスマス時期に相応しい素敵な望年例会となりました。

参加者は会員25名、ビジターが10名でした。ふくろう募金は5,858円でした。



2月例会 令和2年2月20日(木) 於：鰯割烹みどり



2月の例会では小川智之会員による卓話をしていただきました。

IR統合型リゾート開発や千葉市を活性化するための起爆剤などの提案も説明され、内容が豊富で濃いお話しでした。

参加者は会員21名でふくろう募金は2,542円でした。



(12月、2月とも中島美香例会委員長)

## 会員異動 新入会



おさだ けんじ  
長田 研自

1953年2月11日生

血液型 B型  
事業所名 株式会社 I.T.Aシステム  
事業内容 セキュリティ機器システム  
設計・施工  
所在地 千葉県若葉区みつわ台2-34-2

TEL. 043-216-5537 FAX. 043-216-3739

URL: <http://www.itasystem.co.jp/>

mail: [osada@itasystem.co.jp](mailto:osada@itasystem.co.jp) 趣味: 仕事・寄付・献金



ささき ともひさ  
佐々木 智久

1974年12月12日生

血液型 O型  
事業所名 佐々木司法書士事務所  
事業内容 司法書士  
所在地 千葉県若葉区小倉町1751番地20  
TEL. 090-2246-1676

mail: [neroazzurro\\_18@yahoo.co.jp](mailto:neroazzurro_18@yahoo.co.jp) 趣味: スポーツ観戦

## 退会

井上 裕筈氏 株式会社 井上  
大岩 義充氏 有限会社 アイム設計  
田那村 宏氏 田那村整形外科

## 訃報

穴倉 龍子氏 有限会社 奈二輪 2月8日逝去  
田那村 宏氏 田那村整形外科 1月逝去

## 4月～6月のスケジュール

4 / 1 (水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
5 / 13 (水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
5 / 28 (木)	夕食例会	18時30分開会	鰯割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
6 / 6 (土)	令和2年度定時総会	会場: ホテルグリーンタワー幕張 受付: 17時30分 開会: 18時00分	

※ 4月23日(日)に予定していた夕食例会は中止になりました。  
また、4月25日(土)に予定していた春の宴(日帰りバス旅行)は延期(開催日未定)となりました。

## 編集後記

初めて「新型コロナウイルス」について聞いたのはお正月が明けた頃でしょうか。中国武漢から始まった感染症はその後、中国全土に広がり、日本に渡って今や世界中に蔓延しています。外出自粛やオリパラ1年延期など私たちの生活にも大きな影響を与えていますが、少しでも会員の皆さんに役立つ情報を提供したいと森本さんに記事を書いていただきました。この感染症が収まるのは、まだ少し先になりそうですが、皆さまもどうかご自愛ください。(永田洋子)

